

□ 次の文章を読んで後の問に答えよ。

むかしは勉強が出来なければ、無理に上の学校になど上げず、働きに出した。そういう子供が、大工に弟子入りして、めきめき⑦本領を發揮して腕のいい大工になったりした。

いまの子供は、幸か不幸か、みな高校に行くような仕組みになった。中学だけでやめるのは特殊な例になってしまったようだ。形は確かにそうだが、中身はそう簡単ではない。

たとえば勉強にしても、中学になると、教科を理解できる子と理解できない子、つまりついていけない子の差がだんだんはつきりしてくる。しかし出来ないから中学だけでやめさせるわけにはいかない、そういう仕組みになっている。学校でだめで、親に教える余裕がなければ、あとは塾にやるしかない。

だから教育マヤとひと口に言っても、有名校から東大をねらわせるといった積極マヤから、家で面倒みきれないから、塾にやるという消極教育マヤまで、かなり幅のひろがりがあるのではなからうか。

学校で落ちこぼれないように教えてくれれば、それにこしたことはないのだが、なかなかそうはいかないものだろうと思う。むかし中学校の教師をした経験からいえば、どうやって出来ないうちはいる。すべての教育技術を駆⑧シしても、落ちこぼれる子が出る。二人前働いてもそういう結果は出る。

それを出るだけふせぐためには、教師の数をふやし、教室の数をふやし、一人の教師の受け持ち生徒数を少なくするしかないのだが、現実には逆に教師の数が少なく、受け持ち生徒数は多くなっているらしい。

そういう⑨学校制度の欠陥があれば、塾産業が繁⑩ジョウするの当然で、塾経営は、いまの教育制度下では、十分に意義のある存在ということも出来る。

だが、私は子供を塾にやるうとは思わない。塾にやることで、子供が勉強しか出来ない人間になつては困るからである。まだ子供なのだから、子供らしく少しは遊ばせたいし、また嫁に行つても困らないように、掃除、洗濯、料理といったものもしつけない。勉強だけの人間は、人間として偏るといふ考えがあるので、塾にやつて、子供が自分の時間を全部勉強に取られては困るのである。少しぐらい頭がよくなつても、嬉しいとは思えない。

それと、もうひとつ。私は熱狂がきらいである。⑫塾にやつていないというど、うさんくさげに私をみたります。過熱した風潮がおそろしい。

日中戦争がはじまったのは、私がまだ子供のころである。私たちは村端⑬の一本杉まで、出征して行く若者たちを見送りに行つた。カイゼル髭をたくわえた、小柄な村長が、莊重に壮行の言葉を述べ、^{*}軍服に白襟の若者が、家で何回も練習したに違いない挨拶の言葉を、咽とつと述べた。私たちと愛国婦人会が「天に代りて」を唱い、小旗を振る中を、若者は村を出て行つた。

最初は一人か、二人だった。そしてその頃は、赤紙が来た家では、家族が泣いたのである。どこそこのアネ（嫁）が、赤紙みて泣いたそうだ、という噂を聞いた。それは非難する口ぶりではなく、多分に同情をこめた噂だった。

しかし村端れの見送りが、一度に十人もの若者たちを送り出すようになると、赤紙をみて泣く人はいなくなつた。⑬泣けば非国民といわれかねなかつた。そういう言葉がはやつていた。⑭村も国も、熱狂の時代に入つていたのである。

私自身も、その熱狂の中にいた。完全な軍国主義者で右⑮ヨクだった。当然戦争に行き、そこで戦い、死ぬものだと思つて、その考えを深め、納得するために、さまざまな本を読んだりした。それも家族のためにではなく、天皇のために、である。

これが、私が経験した熱狂の最大のものだつた。戦後私は、めつたに熱狂するということがなくなつた。ことにマッスの熱狂に敏感になった。⑯うさんくさい気持が先立つた。私のような末期戦中派には、こういう形の敗戦の傷あとというものであるのではなからうか。

だから塾にはやらない。いまの教育の過熱ぶりはただごととは思われないからである。しかし、親の意見を押しつけているわけではない。家の子供は勉強きらいで、親のこの意見には全面的に⑰サマ意を示し、塾に行かずにすることを大変喜んでゐる。

ただし、ほつて置けば遊んでゐるだけだから、勉強しないと中学でおしまいにしてお手伝いにするぞ、という。塾にいかないかわりに、掃除、洗濯、靴みがきと、みなしつけてあるから、これに料理を仕こめば、お手伝いは勤まるはずである。

娘もお手伝いは少しきつーいと思うのか、いまのところ ⑰神妙に勉強しているが、これが二年、三年になつた

ら、果たして親が勉強につきあい切れるか、あまり自信はない。

*天に代りて——「日本陸軍」という軍歌の冒頭。戦地に赴く兵士を近隣の人が軍歌を唱って見送った。

*赤紙——召集令状。兵士として戦地に赴かせる出頭命令書。拒否や逃亡は処罰された。

*ワッス——多数、集団。

問一 傍線部②～④のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①使 ②至 ③史 ④条 ①算 ②惨 ③散 ④賛
①翼 ②翌 ③浴 ④欲

解答番号③①①②②③③④④

問一 傍線部⑦、⑧の意味として適当なものをそれぞれ①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ⑦ ①もとの血筋 ②持ち前の優れた才能 ③内心抱いている野望 ④隠れた努力の結果

- ⑧ ①人知を超越して ②気難しく頑固で ③不満を内心に抱いて ④素直におとなしく

問三 傍線部①の示すものとして適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①教育ママが教育にうるさい点 ②児童生徒に学力が平等に定着しない点
③教師一人の受け持ち生徒数が多すぎる点 ④学歴が人生を決めてしまう点

解答番号⑦

問四 傍線部②の理由として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①勉強ばかりする人は偏った人間になるという考えが純真過ぎて、子供の考えのようだと思うから。
②筆者は中学校の教師をしていたので娘の学力をつけるのに塾にやる必要がないことを妬んでいるから。

- ③子供は塾へやるべきで、やらないのは異端だというのがその時の社会全体の風潮になっていたから。

- ④子供を塾にやつても出来ない子は出来ないという筆者の考えに人間としての温かみが感じられないから。

問五 傍線部③の理由として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①家族を軍隊に取られて泣くのは国策に逆らう悪であるという風潮が社会全体に醸成されてしまっていたから。
②家族が戦場に行くことは死と直結していたので息子や夫を軍隊に取られて泣くのは自然な感情の発露だから。

- ③村の若者が戦場に行くことに近隣の人々が同情を寄せている場合ではないというほど戦況が切迫していたから。

- ④自分の家族が戦場に行っても誰も悲しまないくらいに、軍や政府が演出した軍国主義で凝り固まっていたから。

問六 傍線部④の内容として適当でないものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①情報の正誤が錯綜して社会が混乱し、どうすれば和平を結べるか国家全体の方針が立てられないでいた。
②国民が政府や軍の施策を絶対的な正義と信じて、賛成・協力しないものは社会からつまはじきされた。

- ③戦争を肯定し、お国のために戦死する覚悟を植え付けるような教育が子供の時から熱心になされていた。

- ④ある一つの価値観・方向だけが是とされ、自由で多様な意見を認めない風潮が日本中に浸透していた。

問七 傍線部⑤の内容として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①メディアが下手な芸能を上手に見せかけて国民の熱狂を煽るので、人々は真の価値を判別出来ないのではないかと危惧。
②軍国主義の熱狂から冷めて騙されたと気づいたが、自分は今後冷静に価値を判断できないのではないかと

- ③社会全体であることに熱狂するときは他方では個人の自由や人間の多様性が犠牲になっているのではないという危惧。

二

次の文章を読んで後の問に答えよ。

かという危惧。

④人々を熱狂させておいて熱狂する人々から多額の金品を巻き上げるシステムになっているのではないかと
いう危惧。

人にはおかしいと思われるかも知れないが、私は、これは難しいことには、自分の方から進んで、その難しい事柄の中へ這入って行く、そういう方法を身につけていた。これはアランから学んだことで、その難しいことによつて、①その難しいことが、最もたやすく、愉しいことに変貌するからである。自分の方から進んで、私たちは誰でも、これから先、生きて行くのに、どうしたら好いのか迷い抜いて、まるで結論の出て来ないこととは、しばしばあるものです。こんな簡単なことがどうして、と思つても、簡単であればあるほど、迷うものでないでしようか。

人間の生きて行く道は、幾通りもあるものです。この道を行つたからと言つて、それがびたりと最善である、と誰に分かるものでしようか。あとから考えると、最悪の道であつたのに最善であると思つたとは、何と言う愚かなことであつたかと、後悔してみても、②後の祭りです。

こんなときに、私たちはどうしたら好いのでしょうか。④ ままよ、何とでもなれと思つて行き当たりばったりになるには、私たちの気持ちはあまりにも理性的です。

おかしいことですが、それがどんな事柄であれ、或る困難な事態に出会うことがあると、本能的に、その困難を打開してみたいという、あれは何と云うのでしよう。言わば、動物的な衝動に駆られて、⑤イヤだなしに、その事態の中に突進せずにはいられない、或る欲望が私の中にひそんでいた、とでも言うのでしようか。そうで、いつでも、私は相手のためではなく、相手のためだと見える場合でも、凡て自分自身の衝動によつて、それをしたのでした。

人には信じられないことだけれど、言つてみれば、私は、何か困ることがあつて、それを少しずつ直して行くのが好きである。

一つの作品を書いている間には、はたと行き詰まつて手のつけようがないことがある。どう打開していったら好いか、皆目あての付かないことがある。もうこの作品は書き続けられない、と思ふことがある。こんなときに私はどうするか。書かないで捨てて了うか。そうではない。書かない訳にはいかない。七転八⑥トウしている間に、あつと声を上げて叫びたくなるような、これでなくて何を書こう、と思うような或ることを思いつく瞬間がある。大小の違いはあるが、どんな作家でも同じ経験をする。この瞬間のことを、天⑦ヨのものと思えるか。このことについては、ドストエフスキも書いているし、阿波の人形師天狗屋久吉も語っている。それは悪戦苦闘している人間に対して、神さまがご褒美として下される恩恵ではなく、悪戦苦闘している人間自身が、自己の力によつて発見するものである。

私はそのことを信じる。能力は神さまが恩恵として下さるものではないから、手をこまぬいていて、何もしないでいて、或る日ひょこりと好い作品は書けない。そういう好運、乃至は依怙^{えい}鼻^びは望めない。その絶体絶⑧メいの、掛け値なしの自分の力だけで仕事をするのだと思ふことによつて、②或る勇氣が湧く。不思議なことである。

私にはここがあの道だ、あの、私の幾度となく通つて来た泥んこの、足を吸い込まれる、あの見覚えのある道だということが分かる。ああ、私は幾度この同じ曲がり角を曲がつたことだろう。私はこの道まで来ると、それはちやうど犬が見覚えのある道をひよいと曲がつて行くように、思わず同じ道を行く。③その先に何があるか。どんな陥穽^{かんせう}があるか、ちゃんと分かっているのに、私は今度もその同じ道を曲がりそうになる。ああ、私にその力があるのか。いまの私にもその力があるなら、私は私の一番困難な、まるで別の、見も知らない新しい道を探して行こう。世の幾人かの女がすすんで堪えて来た道。もし私に力があるなら、その道を行こう。

私たちは何事をするにも、私たちがそれに対して、一番最初に感じたことを思い出ししよう。

人間というものは、一⑥タシ覚悟を決めたとなると、どんなことでも出来るものです。

宇野千代「行動することが生きることである」による
*アラン・フランクスの哲学者の名

問一 傍線部①～④のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①否 ②嫌 ③非 ④拒 ①命 ②名 ③盟 ④迷
①投 ②棟 ③頭 ④倒 ①丹 ②短 ③旦 ④単
①世 ②与 ③誉 ④余

解答番号 12 13 14 15 16 17 A 18 B 19

⑦ ①期待外れの結果に悲嘆に暮れること ③自然の景観が殺風景なこと
①とりあえず時間をおこう ③飾らないで正直に生きよう
②わがままを貫こう ④成り行き任せにしよう
②損か得かの計算すくでないこと ④教値には表れない不思議なこと
③自信たっぷりであること

問三 傍線部①の理由として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①自分は最善の道を選択したつもりが実は最悪の結果になってしまったから。
②人間の生きていく道は幾通りもありどれが正しいとは断言できないから。
③難局を切り開いて解決することは人間の本能的欲望を満足させることだから。
④固い意志の力ではなく、内面の衝動に突き動かされてやみくもにやっただから。

問四 傍線部②の内容として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①悪戦苦闘している人が、自己の力と神の力を頼む勇氣。
②自分が一番最初に感じたことを形にしようと努力する勇氣。
③自分だけを頼りとして困難な道を挑もうと覚悟する勇氣。
④どうすればいいか迷いに迷っている自己の姿を見つめる勇氣

問五 傍線部③の理由として適当なものを①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①これまで何度も体験してきた苦労はもうけっしてしたくないから。
②自分の努力で苦難の道を切り拓いて自分の思うことを実現したいから。
③何人もの女たちが堪え忍んで通過して来た道を途絶えさせたくないから。
④悪戦苦闘をしているといつかは神さまの恩恵があると信じているから。

三 次の A ～ E の傍線部の意味として適当なものを後の ①～④の中から選んで記号で答えよ。

A 瑣末なことが気になって落ち着いて仕事に集中できない。
①解決できないこと ②取るに足りないこと ③覚えていないこと ④将来の生活

B 居丈高に命令していた習慣は定年退職しても変わっていない。
①それとなく陰で ②優しく丁寧に ③周囲の状況を察して ④威張った態度で

C いよいよお鉢が回ってどうにも逃げられなくなってしまった。
①どん底の貧乏になって ②仏罰が当たって ③順番が回ってきて ④窮地に陥って

D 彼はその賞状を見せながら小鼻をうごめかした。
①悲しげな表情をした ②照れくさそうな表情をした ③得意げな表情をした ④不満な表情をした

E 拜啓。雪解けの季節を迎え、つがなくお過しのことと存じます。

- ① 平穩無事に ② 期待に胸に抱いて ③ 覚悟を新たに ④ 清新な気分

四

次のA～Gの文の□に入る漢字として適當なものを含め、後の①～⑨の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [28] B [29] C [30] D [31] E [32] F [33] G [34]

A あの人とは冗談を□に受けて怒ってしまった。

B この取引はまだ□があるからがんばろう。

C 法律を□にとつて頑として譲らない。

D そんな練習では昨年度惨敗の二の□になるぞ。

E 敵の激しい攻撃のために出撃するの二の□を踏む。

F あいつはギザな奴で□持ちならなあ。

G 社長の方のかかった人だから用心して応対する方がいいよ。

- ① 盾 ② 匂 ③ 鼻 ④ 脈 ⑤ 足 ⑥ 息 ⑦ 真 ⑧ 舞 ⑨ 機

五

次のA～Eの() に適語を入れて慣用句・ことわざを完成させよ。答えは後の①～⑧から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [35] B [36] C [37] D [38] E [39]

A 病む身より ()

B 桑^{さく}するより ()

C 柅^きは双葉より ()

D 亀の甲より ()

E 氏より ()

- ① 産むが易し ② 待たるる身 ③ 芳し ④ 団子 ⑤ 育ち ⑥ 慣れる ⑦ 年の功 ⑧ 見る目

六

次のA～Gの意味を持つ四字熟語を含め、後の①～⑨の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [40] B [41] C [42] D [43] E [44] F [45] G [46]

A 他人の言うままに従うこと

C きつぱりと思ひ切った処置をすること

E 運命をかけて大勝負をすること

G 不遇な人や弱い立場の人に同情し味方すること

- ① 四面楚歌 ② 一連托生 ③ 唯々諸々 ④ 会者定離 ⑤ 乾坤一擲

- ⑥ 判官鼻眞 ⑦ 荒唐無稽 ⑧ 森羅万象 ⑨ 一刀両断

七

次の文章の(A)～(E)に入る言葉として適當なものを含め、後の①～⑧から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [47] B [48] C [49] D [50] E [51]

白樺派よりやや遅れて大正時代の文壇に大きな勢力を占めたのは新技巧派あるいは新理知派といわれる作家たちである。彼らは夏目漱石、森鷗外の影響を多分に受けていた。中でも芥川龍之介は大学在学中に同級生と共に第三次、第四次(A)を創刊し、第三次には『羅生門』を発表した。第四次には(B)を発表して夏目漱石から激賞され、文壇に華々しく登場した。大学を卒業すると、『地獄変』などの王朝物、『奉教人の死』などの切支丹もの、『戯作三昧』『枯野抄』などの江戸もの、『舞踏会』などの開花ものなどを次々と発表した。大正十年、新聞社の特派員として中国を視察した頃から健康を害するようになり、しだいに精神も病むようになって。昭和二年、精神疾患の患者に仮託した文明批評(C)や救いのない心の深淵を描いた『玄鶴山房』を発表するが、七月二十四日服毒自殺した。

同人誌を通じて芥川龍之介と親友となった(D)は『忠直卿行状記』『恩讐の彼方に』戯曲(E)などを次々と発表したが、彼の功績は自らの創作のみならず、出版の世界を拡大したことである。それ以後『文藝春秋』を創刊し、才能ある作家たちに発表の機会を与え、出版の世界を拡大した。昭和十年に『芥川賞』を創設し、現在も年一回新進作家による純文学短編の最優秀作品に与えられており、新人作家の大きな励みとなっている。

- ① 新思潮 ② スバル ③ 鼻 ④ 杜子春 ⑤ 河童 ⑥ 父帰る ⑦ 菊池寛 ⑧ 武者小路実篤